

政策名	1グローバルロジスティクスの港		責任者	港営部 振興課長	連携担当課
基本施策名	01国際・国内海上輸送機能の強化				
個別施策名	07ポートマーケティング機能を強化する		連絡先	052-654-7835	
事務事業名	12海外ポートマーケティング・ポートセールスの活用				

1 PLAN(目的・概要)

目的	有益な情報を収集し、効果的なビジネスチャンスを得ることにより、名古屋港の貿易拡大を図ります。	事業期間	昭和58年度～継続
概要	姉妹友好港等を通じた海外最新事情収集、海外ポートセールスを行います。	根拠法令・要綱等	
		実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

2 DO(実施)

22年度の実施内容 【及び23年度の実施予定】	・22年度については、マーケティング事業の一環として、姉妹友好港等海外港湾と10回の交流(受入・派遣)を行いました。 ・23年度のポートセールス活動としては、貿易拡大を目指し欧州方面及び東南アジア方面への訪問を計画しています。								
活動指標	年度	19	20	21	22	23	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
訪問・受入・イベントの合計回数	単位	目標	10	10	10	10		10	21年度末に事務事業が統合となったため、指標を見直しました。
	件	実績	11	11	8	10			
事業費	単位	目標							海外マーケティング、ポートセールス事業は、本組合および名古屋港利用促進協議会事業(利促事業)として行うものがありますが、この内、利促事業として行うものについては、総事業費における本組合の負担割合(21年度は53.4%)をかけ、総合計を算出しました。事業統合により事業費、人件費も統合されています。
	千円	実績	9,330	15,362	10,480	11,058	12,368		
人員	正規職員	単位	人	2.10	2.10	2.28	2.38	2.38	
			嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費相当額	千円	18,239	18,417	19,567	20,185	20,865			
事業費・人件費の合計	千円	27,569	33,779	30,047	31,243	33,233			

3 CHECK(検証)

決算ベース(H22は見込) ← → 予算ベース

成果指標	年度	19	20	21	22	23	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)	
訪問・受入・イベントによる交流人数の合計	単位	目標	400	400	400	400		400	21年度末に事務事業が統合となったため、指標を見直しました。22年度はセミナーの実施はありませんでした。	
	人	実績	704	808	238	124				
	達成率(%)	176.0	202.0	59.5	31.0					
観点	課題の有無	現状の「見える化」							その他特記事項	
	観点	観点							その他特記事項	
必要性	組合関与の必要性	有・無	有・無							※事務事業の目的(対象・意図)が類似しているため、次の事務事業をこの事務事業に整理統合しました。 1-01-07-07海外ポートセールスの推進 1-01-07-08英文ウェブサイトの運営 1-01-07-09海外港湾との交流促進
	目的・水準の妥当性	有・無	有・無							
有効性	利用者などの対象者ニーズ	有・無	有・無							
	成果の達成度	有・無	有・無							
効率性	内容の妥当性	有・無	有・無							
	実施主体の妥当性	有・無	有・無							
	受益者負担の適正性	有・無	有・無							
経済性	有・無	有・無								

4 ACTION(取組)

今後の事務事業の方向性	今後の取組の方向性		今後の取組の方向性の判断理由
継続	成果	コスト	名古屋港の利用につながる事業に重点を置くなどして、費用対効果を高めることが必要のため。
	拡大	維持	
今後の取組内容(改善策、スケジュールの建て直し等)			
ポートセールスについては、港湾関連事業者と連携し、船社・荷主を中心に積極的な名古屋港利用を働きかけるとともに、姉妹友好等港関連では、よりビジネス面を重視した内容にシフトしてゆきます。			